

# 経カテーテル心房中隔欠損閉鎖術前後の組織ドプラ法による僧帽弁輪運動速度変化の検討

## 1. 研究の対象

済生会熊本病院において2020年4月より2024年3月までに経カテーテル心房中隔欠損閉鎖を実施された方

## 2. 研究目的・方法

経カテーテル心房中隔欠損閉鎖術は心房中隔に大きな閉鎖栓を留置することで欠損孔を塞ぎます。心臓超音波検査で心筋の動きの速度を示す組織ドプラで求める僧帽弁輪速度  $e'$  は左室の拡張機能（拡がりやすさ）を表わす指標です。心房中隔に置かれた閉鎖栓の影響は受けないといわれています。そこで今回、左室中隔側と側壁側の  $e'$  を閉鎖術前後で比較し、閉鎖術により増加する前負荷（心臓に戻る血液量）が与える変化が両者で同様にみられるかどうかを検討します。

## 3. 研究期間

倫理委員会承認日から2027年12月31日

## 4. 外部への資料・情報の提供

熊本保健科学大学へのデータの提供は、済生会熊本病院の研究実施許可日以降、個人の識別できる情報を削除し特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は済生会熊本病院中央検査部責任者が保管・管理します。

## 5. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、デバイスサイズ、デバイスの種類、心臓超音波検査による検査値

試料：該当なし

## 6. 研究組織

熊本保健科学大学（研究責任者 保健科学部 医学検査学科 富田文字）

済生会熊本病院（研究責任者 中央検査部 福重翔太）

## 7. お問い合わせ先

本研究に関する質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科 富田文子

住所：熊本市北区和泉 325

電話：096-275-2111（代）